

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 10 月 30 日 (2014.10.30)

【公開番号】特開 2013-88757 (P2013-88757A)
 【公開日】平成 25 年 5 月 13 日 (2013.5.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-023
 【出願番号】特願 2011-231645 (P2011-231645)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 1/11 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 1/10 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 9 月 12 日 (2014.9.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

屈折率 n を有する物質でなり、
光入射面に N 個の柱状の凸部を有し、
屈折率 1 の空間で用いられ、
前記光入射面の表面積を S 、前記凸部の底面積を S_m 、前記凸部の高さを h_m (m は 1 以上 N 以下の自然数、 N は自然数)、前記光入射面に入射する光の波長を λ とすると、数式 (1) および数式 (2) を満たすことを特徴とする反射防止構造体。

【数 1】

$$\frac{0.7S(\sqrt{n}-1)}{(n-1)} \leq \sum_{m=1}^N S_m \leq \frac{1.3S(\sqrt{n}-1)}{(n-1)} \dots \dots (1)$$

【数 2】

$$\frac{0.7\lambda}{4\sqrt{n}} \leq h_m \leq \frac{1.3\lambda}{4\sqrt{n}} \dots \dots (2)$$

【請求項 2】

屈折率 n を有する物質でなり、
光入射面に N 個の柱状の凹部を有し、
屈折率 1 の空間で用いられ、
前記光入射面の表面積を S 、前記凹部の底面積を S_m 、前記凹部の高さを h_m (m は 1 以上 N 以下の自然数、 N は自然数)、前記光入射面に入射する光の波長を λ とすると、数式 (1) および数式 (2) を満たすことを特徴とする反射防止構造体。

【数 3】

$$\frac{0.7S(\sqrt{n}-1)}{(n-1)} \leq \sum_{m=1}^N S_m \leq \frac{1.3S(\sqrt{n}-1)}{(n-1)} \dots \dots (1)$$

【数 4】

$$\frac{0.7\lambda}{4\sqrt{n}} \leq h_m \leq \frac{1.3\lambda}{4\sqrt{n}} \cdots \cdots (2)$$

【請求項 3】

屈折率 n を有する物質でなり、
光入射面に N 個の柱状の凸部を有し、
屈折率 n の空間で用いられ、

前記光入射面の表面積を S 、前記凸部の底面積を S_m 、前記凸部の高さを h_m (m は 1 以上 N 以下の自然数、 N は自然数)、前記光入射面に入射する光の波長を λ とし、 n を 1 より大きい実数とすると、数式 (9) および数式 (10) を満たすことを特徴とする反射防止構造体。

【数 5】

$$\frac{0.7S(\sqrt{n_\alpha n_\beta} - n_\alpha)}{(n_\beta - n_\alpha)} \leq \sum_{m=1}^N S_m \leq \frac{1.3S(\sqrt{n_\alpha n_\beta} - n_\alpha)}{(n_\beta - n_\alpha)} \cdots (9)$$

【数 6】

$$\frac{0.7q\lambda}{4\sqrt{n_\alpha n_\beta}} \leq h_m \leq \frac{1.3q\lambda}{4\sqrt{n_\alpha n_\beta}} (q \text{ は } 3 \text{ 以上 } 7 \text{ 以下の奇数}) \cdots (10)$$

【請求項 4】

屈折率 n を有する物質でなり、
光入射面に N 個の柱状の凹部を有し、
屈折率 n の空間で用いられ、

前記光入射面の表面積を S 、前記凹部の底面積を S_m 、前記凹部の高さを h_m (m は 1 以上 N 以下の自然数、 N は自然数)、前記光入射面に入射する光の波長を λ とし、 n を 1 より大きい実数とすると、数式 (9) および数式 (10) を満たすことを特徴とする反射防止構造体。

【数 7】

$$\frac{0.7S(\sqrt{n_\alpha n_\beta} - n_\alpha)}{(n_\beta - n_\alpha)} \leq \sum_{m=1}^N S_m \leq \frac{1.3S(\sqrt{n_\alpha n_\beta} - n_\alpha)}{(n_\beta - n_\alpha)} \cdots (9)$$

【数 8】

$$\frac{0.7q\lambda}{4\sqrt{n_\alpha n_\beta}} \leq h_m \leq \frac{1.3q\lambda}{4\sqrt{n_\alpha n_\beta}} (q \text{ は } 3 \text{ 以上 } 7 \text{ 以下の奇数}) \cdots (10)$$

【請求項 5】

請求項 1 または請求項 3 において、

隣り合う前記凸部間の距離 L は、前記波長 λ よりも小さいことを特徴とする反射防止構造体。

【請求項 6】

請求項 2 または請求項 4 において、

隣り合う前記凹部間の距離 L は、前記波長 λ よりも小さいことを特徴とする反射防止構造体。

造体。